



大谷中だより

自ら学ぶ 認め合う 大きな夢をもつ

夢のある
生き生きとした学校



令和8年2月10号

〒337-0014 さいたま市見沼区大谷1634-2
TEL 048-685-6982
さわやか相談室(直通) 048-685-8272
ホームページ <https://oya-j.saitama-city.ed.jp>

心の境界線

校長 加藤 良夫

2月4日は立春ですが、まだまだ寒い日が続いています。今年度を終えるまで、あと2ヵ月となりました。先月「有終の美」について話をしましたが、皆さんの進捗状況はいかがですか。

3年生は、県内の私立高校の入試を終え、県公立高校の入試を迎える時期となりました。すでに進路が決まった生徒もいますが、県公立高校の入試に向けて取り組む生徒の姿が見られます。体調に留意しながら受検に臨んで欲しいと思います。

また、2年生は、2月2日(月)より館岩自然の教室が行われます。今まで学んできたことを実践する行事です。スキーの上達を目指すだけでなく、寝食を共にする級友や学年教員との絆が深まり、最高学年に向けての意識が高まることを願っています。そして、1年生は、2月26日(木)に校外学習が川越方面で実施されます。自分たちで計画を立て、班行動を通して、学ぶことも多くあると思います。4月からの先輩としての意識を持ち、後輩を良き方向に導くことを期待しています。

さて、1月10日(土)に、1、2年生の公開授業及び子育て講座、新入生保護者会を開催しました。当日は大変寒い中、たくさんの保護者の方に参加いただきました。

今回の子育て講座は、さいたま市こころの健康センターより、係長小池久子様、主査沼田由貴様を講師にお招きして「思春期の親子関係と境界線」についてご講演をいただきました。境界線とは、自分と他の人の個人的な空間を区別する目に見えない線であり、人と人との間にある国境のようなものであり、様々な種類があること、それは親子関係にも存在することを、具体例と対処法等を交えながら、大変分かりやすいお話でした。

本校では、毎年1年生に向けて「心の境界線」について、講演を行っています。自分の大切な空間に相手が入り込んでくると不快になり、逆に相手の大切な空間に自分が入り込んでしまうと相手を傷つけてしまうことがあります。中学生となり、生活環境が大きく変わり、友人関係や成長に伴う不安や葛藤等が見られる1年生に、自分も相手も大切にすることを学ぶ機会としています。

自分も相手も大切にすることをより浸透させ、お子様にとって、良い環境をつくるためには、学校、生徒、保護者が「心の境界線」について共有することが必要だと考えます。それによって、お子様が相手との距離を適切に保ち、自分も相手も大切にすることができると思います。

私自身もこの講演を拝聴することで、これまでの言動を振り返る良い機会となっています。本校の「寄り添い、導き、見届ける」の方針で、教育活動に取り組んでいる教職員も同様です。

保護者の皆様、地域の皆様、本校生徒の日々の成長を見守っていただき、ありがとうございます。今、多感な時期を過ごしている生徒ですが、地域の行事やボランティア活動等で、引き続き本校の生徒を温かく見守っていただくとともに、生徒たちの成長にお力添えいただけると幸いです。